

# 人権コラム 心、豊かに

## ◆ やりがいを持って働くために

新年度を迎え、4月から新社会人になったという人も多いのではないのでしょうか。これからの新生活を想像して期待に胸を膨らませていることでしょうか。

2017年に内閣府が16歳～29歳を対象に行った「子供・若者の現状と意識に関する調査」では「何のために仕事をするのか」という問いに、「収入を得るため」の回答が一番多く、その他に「仕事を通して達成感や生きがいを得るため」といった回答があることから、今の若者が仕事に対して収入以外にもやりがいを求めていることが分かります。仕事に対する夢や、やりがいを持つことはより質の高い成果を出すためにとても大切なものです。

やりがいを持って働くために必要なことは「仕事が楽しい」、「人の役に立っている」という充実感や「仕事をやり遂げた」などの達成感を得ることです。また、任せられた仕事を達成し、成功体験を積み重ねることで自分に自信を持てるようになります。しかし、経験が浅いうちは仕事を一人で任されることはそう多くはありません。徐々に仕事を任されるようになるとやりがいを感じ、責任感から無理な働き方をしてしまうことがあります。こうした問題は若者だけのものではありません。未経験の分野に転職した人なども、同じような状況になってしまうことがあるのです。また、様々な世代が同じ職場で仕事をしていく上で価値観の違いなどから意見が分かれることもあるかもしれません。そんな時はどちらか一方を否定するのではなく、お互いの意見を尊重し、意見をすり合わせていく中で新しい視点を学ぶことができ、お互いの成長にもつながります。

仕事をしていく中で、普段から相談したりアドバイスを言ったり、様々な世代間でコミュニケーションを図り、良好な関係を築くことが人材の成長を促すとともに、やりがいを持って働ける職場をつくることになるのです。